

①土づくり（1㎡あたりの量）

- ・石 灰 100g
- ※石灰は1週間前に施し、耕しておく
- ・牛糞堆肥 6リットル
- ・肥 料 100g



堆肥・肥料

※きゅうりの根は下に伸びずに、横方向に伸びるので、肥料と堆肥は浅く、広くまく

※その他の肥料（用意できれば最高です！）

- ・ようりん 50g（実つきをよくします）

①苗選び

- ・双葉が付いている。
- ・本葉が3～4枚程度のもを選ぶ。
- ・葉の色が濃いものを選ぶ。

②植え付け

- ・新潟では5月～6月上旬に苗を植え付けます。
- ・株間は60cm程度あけます。
- ・雨が降り、土の跳ね返りが葉に着くと病気になるやすいので、マルチを施すのがおすすめです。
- ・植え穴をあけたら、水を入れてから植えます。（根付きがよくなります）
- ・支柱を立てて、苗が倒れないように、茎を支柱に紐で結びます（「誘引」と言います。）

③誘引

- ・10日に一度程度支柱に誘引してあげます（上へ上へと導いてあげます）。

④わき芽かき

- ・わき芽は下から5番目以降のものを育てていきます。それより下のわき芽は、カットします。（下の葉は雨や散水による土の跳ね返りで、病害虫の原因になりやすいのカットしていきます）

⑤追肥

- ・きゅうりは実が付くスピードが速いので肥料切れには注意が必要です。
- ・植え付けから2週間おきに、マルチをめくって畝の肩に30g/㎡を施します。

【留意点】

- ・株が未熟なうちに着いた一番目と二番目の実は、株の成長を優先し、カットしてあげます。（こうすることで、株が生長し、いっぱい実をつけることができます）
- ・きゅうりは一日に10cmくらい大きくなるので、頻繁に確認してちょうどいいサイズの時を見逃さずに収穫しましょう！（放っておくとヘチマみたいに大きくなります（笑））